

科目名		介護の基本Ⅱ	
担当講師	角田 匡哉	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 60 時間・4 単位	開講学年	介護福祉専攻科 通年
評価基準	筆記試験（100%）※前期（50%）後期（50%）		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護福祉士に求められる職業倫理を学び、高い倫理性を身につける。 ● 多職種協働やケアマネジメントなどの制度の仕組みを踏まえ、具体的な事例について介護過程を展開できる能力を養う。 ● リスクマネジメント等、利用者の安全に配慮した介護を実践する能力を養う。 ● 介護従事者自身の健康管理や労働環境の管理について理解する。 ● 地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解する。 		
回	講義内容	方法	
1	<u>介護福祉士を取り巻く状況</u> 介護問題の背景・求められる介護福祉士像	講義	
2	<u>「社会福祉士及び介護福祉士法」</u> について	講義	
3	介護における専門職能団体の活動（日本介護福祉士会など）	講義	
4	<u>介護福祉士の倫理</u> （介護実践における倫理・日本介護福祉士会倫理綱領）	講義	
5	<u>介護サービスの特性①</u> （介護サービスの意味と特性）	講義	
6	<u>介護サービスの特性②</u> （ケアマネジメントの意味としくみ）	講義	
7	<u>介護サービスの特性③</u> （介護サービスの歴史的変遷と時代背景）	講義	
8	<u>介護サービスの特性④</u> （介護サービスの種類と提供の場）	講義	
9	介護保険制度について	講義	
10	介護サービス提供の場の特性①（高齢者に対する居宅系サービス）	講義	
11	介護サービス提供の場の特性②（高齢者に対する入所系サービス）	講義	
12	障害者総合支援制度について	講義	
13	介護サービス提供の場の特性③（障害者に対する居宅系サービス）	講義	
14	介護サービス提供の場の特性④（障害者に対する入所系サービス）	講義	
15	前期筆記試験（50%）・前期まとめ	試験	

16	<u>多職種連携①</u> 多職種連携の意義と目的、協働職種の理解と連携のあり方	講 義
17	<u>多職種連携②</u> 利用者を取り巻く他職種連携の実際	講 義
18	<u>地域連携①</u> 地域連携の意義と目的	講 義
19	<u>地域連携②</u> 地域連携にかかわる機関の理解、利用者を取り巻く地域連携の実際	講 義
20	<u>介護における安全の確保</u> (介護における安全の確保の重要性、安全確保のためのリスクマネジメント)	講 義
21	<u>事故防止と安全対策</u>	講 義
22	<u>感染管理のための方策①</u> (生活の場での感染対策、高齢者介護施設と感染対策)	講 義
23	<u>感染管理のための方策②</u> (感染対策とリスクマネジメント、感染対策の基礎知識、感染症発生時の対応)	講 義
24	<u>健康管理の意義と目的</u> (介護という仕事の特徴、介護職の健康と介護の質)	講 義
25	<u>健康管理に必要な知識と技術①</u> (こころの健康管理、燃え尽き症候群)	講 義
26	<u>健康管理に必要な知識と技術②</u> (からだの健康管理、腰痛対策)	講 義
27	<u>安心して働ける環境づくり</u> (労働環境の整備、労働環境の改善、労働安全の基本原則)	講 義
28	介護を取り巻く状況の変化と自身の学び方・専門職業人としての介護福祉士	講 義
29	介護の基本Ⅱまとめ	講 義
30	後期筆記試験 (50%)・後期まとめ	試 験
	テキスト・参考書	最新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ 新・介護福祉士養成講座 16 資料編 その他必要に応じて資料配布予定